

お知らせ

平成25年 5月 9日
国土交通省 中部地方整備局
豊橋河川事務所

『豊川放水路分流堰耐震補強工事』 の完成報告会の開催について

1. 概要

昭和40年に完成した豊川放水路は、豊川下流域の治水安全を担う重要な施設です。

豊川放水路分流堰は、昭和30年代の設計のため巨大地震を想定していませんでしたので、「河川構造物の耐震性能照査指針(案)」に基づき、検討を行った結果、耐力が不足することが判明しました。

このため、国土交通省豊橋河川事務所では、豊川放水路分流堰耐震工事を実施し、平成25年3月末に完成しましたので、完成報告会を実施します。

なお、併せて豊川の事業説明及び意見交換会も予定しています。

2. 開催日時 平成25年5月13日(月) 11:30~12:00
※愛知県豊川改修工事促進期成同盟会後の開催になりますので多少開始時間が前後する可能性があります。
3. 開催場所 豊橋市役所 東館13階講堂
4. 解禁 指定なし
5. 配布先 豊橋市政記者会
6. 情報公開 一般の方は参加できません。(愛知県豊川改修工事促進期成同盟会出席者が対象です)
取材を希望される方は、あらかじめ、下記までご一報願います。
7. 問合せ先 国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所(代)0532-48-2111
副所長 新高 庸介(内線 204)
工務課長 高橋 正行(内線 311)

豊川放水路
分流堰耐震
補強

最新工法で巨大地震に備える

阪神大震災や東日本大震災を受け耐震補強を実施

- 豊川放水路は、一級河川豊川の要となる治水施設で、昭和40年に完成し、その後の出水に対し、被害軽減効果を発揮してきました。
- その豊川放水路の心臓部となるのが豊川放水路分流堰で、可動式ゲート（扉）で洪水の調整を行います。
- 阪神大震災や東日本大震災等の地震発生を受け、点検した結果、豊川放水路分流堰の可動式ゲートを支える柱の耐震性能が不足していることが判明し、耐震補強を行いました。
- 耐震補強は、ポストヘッドバー工法で実施しました。



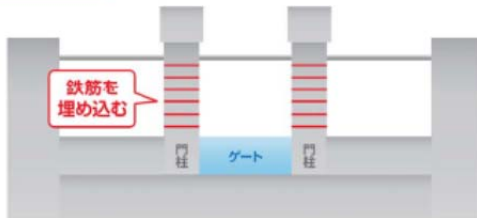
■耐震補強箇所
(平成23年9月洪水時)

最新工法で巨大地震に備える

耐震補強方法

- ゲートの通水断面を確保するため、堰柱の断面積に変化を生じないPost-Head-bar工法による耐震補強を行う。

耐震補強イメージ



コア削孔を行い、せん断補強鉄筋を埋め込むことにより、せん断耐力を向上させる。



Post-Head-bar工法の施工手順

